大学等名	**南山大学**	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	南山大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）	申請年度	令和7年度

取組概要

プログラムの目的

現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society5.0）の中において、データやAIの活用領域や活用方法を理解した上で、データを読み、あるいは自らデータを収集し、それらデータを加工して説明することは、社会活動を行うための必須のスキルになっています。データ・AIの基本特性（可能性と限界、留意点）を正しく理解したうえで、実際にデータを利活用するための基本的な技能を習得することを目指します。

身に付けられる能力

①社会変化とデータ・AI利活用の最新動向について把握できる。
②データ・AI利活用の活用領域、その方法、留意点について説明できる。
③データ分析ソフトを用いて、データを収集し、加工し、それら結果を説明できる。

開講されている科目の構成・修了要件

共通教育科目
-基盤・学際科目
-学際（科学と情報）：データサイエンス入門（2単位）の修了で認定。
（2024（令和6）年度は、4クラス開講）
（2025（令和7）年度は、6クラス開講）

実施体制

①PLAN
共通教育委員会（全学部選出教員）および担当教員陣で授業計画立案

②DO
「データサイエンス入門」受講

③CHECK
授業アンケート・産業界の意見を取得

④ACTION
自己点検評価・授業内容見直しへ

特徴的な授業内容

主にExcelを使用して、データの取得・集計・分析、データの図解表現、実社会でも利用できる知識・技能を習得する。